

## 「第2期基本構想実施計画」骨子案 庁議を踏まえての修正

### ●庁議での主なご意見と対応

#### 全体

〈意見〉・第1期計画とのつながりがわかりにくい。

→体系については別添の資料で整理した。

第1期の成果や課題を踏まえたそれぞれの施策の展開については、今後、素案の中で記載。

#### スライド5：総合目標

〈意見〉・実施計画としては、この3つの総合目標では捉えにくいのではないか。

・「住みたい」というのは滋賀に閉じ込めるイメージもある。

→3つの総合目標は共通認識としての「目指す姿」。

進行管理は別途、関連する指標や事業目標で行う。イメージは別添のとおり。

なお、3つの目標の順序を変更し「幸せの度合い」を一番上、「住みたい」を最後にした。

#### スライド6：子ども・子ども・子ども

〈意見〉・子どもたちが大人になった時のことも考えて施策を実施していく視点が抜けていないか。

→大切な視点「子ども」の文章中に、「今の「子ども」が大人になったときや、ずっとずっと先の世代のまだ見ぬ「子ども」にも思いを馳せながら」を追加。

#### スライド6：第2期実施計画の推進にあたって

〈意見〉・困難な環境にある子どもたちを考えると、外的な環境を含め多様性を「自分らしさ」と表現していいか気になる。

→「“自分らしさ”を見つけるための環境と土壌が育まれる滋賀。」という文を追加。

#### スライド6：サブタイトル

〈意見〉・人に特化しており、健康しがの社会・経済、自然の視点が表現できていないのでは。

・「ずっと滋賀」は、滋賀に閉じ込められるイメージがある。

・外から来た者もいるので、「ずっと滋賀」というより、「一緒に描く」「受け止める」というのもあるといい。

→サブタイトルを以下のように修正

原 案 生も死も育も楽も学も病も老も夢も幸もぜんぶ、ずっと滋賀  
～健康しがで自分らしく～



修正後 ~みんなで描く健康しが~  
人も山も水も空も土も、生も死も育も楽も学も働も病も老も夢も幸もあれもこれもずっと

#### スライド14：政策11「環境負荷の低減と地域循環型社会の構築」

〈意見〉・CO<sub>2</sub>ネットゼロの関連は、政策の柱にどこか1つに入れた方がいいのではないか。

→第1期計画同様、政策の柱を「気候変動への対応と環境負荷の低減」に修正

#### スライド16：ひとづくり

〈意見〉・産業などの「ひとづくり」はあるが自然や社会の視点が無いのでは。滋賀ならではの「ひとづくり」をもっと前面に出した方がいいのでは。

・それぞれの分野を担う人や挑戦する人をつくる施策が並んでいるが、多様性や困難を抱えることにも着目した要素もあるのか。

→もとの「産業」「社会」「医療福祉」のくくりをはずし、より広い視点の「ひとづくり」というイメージに修正。また自然の分野などからも施策を列挙し、広く捉えるようにした。

●庁議後、各部局との再調整による修正

該当箇所	原案	修正後	部局
スライド6 DX 推進	—	「また、セキュリティ対策やデジタル格差対策が講じられた安全な環境の中で、デジタル社会の形成をめざすため、その基盤・ひとづくりに積極的に取り組んでいく。」を追加。	警察
スライド10 政策1の 目指す方向性	「新型コロナウイルス…感染症に強い体制づくり」	「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)への引き続きの対応に <u>くわえ、今後の新興感染症や自然・事故災害等を見据え、コロナ禍の経験を生かした強い健康危機管理体制づくりを進める</u> 」に修正	健福
スライド10 政策1の 施策の展開	○感染症危機管理対応の強化	○ <u>新興感染症にも対応できる強い健康危機管理体制づくりの推進</u>	健福
スライド11 政策1の 施策の展開	○スポーツを楽しむ環境づくり ○わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を契機としたスポーツを楽しむ(「する」「みる」「支える」)環境づくり	○わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」を契機としたスポーツを楽しむ(「する」「みる」「支える」)環境づくり に一本化 ※重複による	文スポ
スライド11 政策1の 施策の展開	○食べる健康の推進	○「 <u>食べる健康</u> 」の推進	農水
スライド11 政策2の 目指す方向性	●困難な課題を抱える子どもたちを…	● <u>困難な状況にある</u> 子どもたちを…	健福
スライド11 政策2の 施策の展開	○困難な課題を抱える子ども・若者を支える	○ <u>困難な状況にある</u> 子ども・若者を支える	健福
スライド11 政策4の 施策の展開	○誰もが活躍できる多様で柔軟な働き方の推進 ○誰もの「自分らしさ」が大切にされ、居場所があり、活躍できる共生社会の実現	○ <u>障害のある人や外国人をはじめ</u> 誰もが活躍できる多様で柔軟な働き方の推進 ○ <u>障害のある人や外国人をはじめ</u> 誰もの「自分らしさ」が大切にされ、居場所があり、活躍できる共生社会の実現	健福
スライド11 政策4の 施策の展開	○県立大学のあり方検討	○ <u>県立大学における学びの充実</u>	総務
スライド12 政策5の 施策の展開等	○強靱な社会インフラの整備、維持管理	○ <u>強靱な社会インフラの整備、維持管理</u> ※誤字修正(他の箇所も)	土木
スライド12 政策7の柱	政策7「安全安心な地域づくり」	政策7「安全 <u>・</u> 安心な地域づくり」	土木

スライド12 政策7の 施策の展開	○激甚化する災害への…	○激甚化・頻発化する災害への…	土木
スライド13 政策8の 施策の展開	○人材の確保と事業承継 ○起業の支援	○事業承継と起業の支援 に一本化 ※なお「人材の確保」は産業のひとづくり推進に含むものと整理。	商労
スライド13 政策8の 施策の展開	○社会・経済情勢の変化に対応した事業展開などの支援 ○先端技術を活用したイノベーションの創出	○社会・経済情勢の変化に対応した事業展開の支援と先端技術を活用したイノベーション創出 に統合。 ※内容に重複があるため	商労
スライド13 政策9の柱	政策9「滋賀らしいツーリズム(シガリズム)の推進と地域の活力づくり」	政策9「滋賀らしいツーリズム「シガリズム」の推進と地域の活力づくり」	商労
スライド13 政策10の 施策の展開	○農林水産業におけるグリーン化の推進	○農林水産業におけるグリーン化・スマート化の推進	農水
スライド14以 降 政策の柱  ※柱立ての修正	政策11「環境負荷の低減と地域循環型社会の構築」 政策12「琵琶湖を守る・活かす・支える」 政策13「農山漁村の持つ多面的価値の発揮」	政策11「農山漁村の持つ多面的価値の発揮」 政策12「琵琶湖をとりまく環境の保全再生と自然の恵みの活用」 政策13「気候変動への対応と環境負荷の低減」 政策14(追加)「持続可能な社会を支える学びと暮らしの定着、国際的な協調と協力」	琵琶環
スライド14 政策11の 目指す方向性	●…循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行を目指す。	●…循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行を図り、地域循環型社会の構築を推進する。に修正 ●県民が安心して暮らせる生活環境づくりを推進する。を追加 また、政策の柱が「気候変動の対応…」となったことを受け、目指す方向性に「●温室効果ガスの排出抑制、さらなる省エネの推進や再生可能エネルギーの導入など低炭素社会の実演に向けた取組を行うとともに、気候変動によって起こりうるリスクに対応する適用策を進める。」を追加。	琵琶環
スライド14 政策11の 施策の展開	○環境負荷の低減・サーキュラーエコノミー	○発生抑制や再使用に重点を置いた3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進、環境汚染物質の排出抑制等	琵琶環
スライド14	○農林水産業における気候変動への対	○気候変動への対応	琵琶環

政策11の 施策の展開	応 ○再生可能エネルギーの導入促進	※分野を限定しない記載に変更 ※これに伴い、再生可能エネルギーも統合	
スライド14 施策の展開	○堆肥等の未利用資源の地域内循環 の推進	○ <u>バイオマスの利用拡大による地域内資源 循環の推進</u>	琵琶環
スライド14 政策12の 目指す方向性	●琵琶湖とそれをとりまく環境の保全再 生、自然の恵みを持続的に活用する取 組を進める	● <u>森・川・里・湖のつながりを踏まえ、琵琶湖 とそれを取り巻く環境の保全再生を図ると ともに、そこから得られる自然の恵みを持続的 に活用する取組を推進する。</u>	琵琶環
スライド14 政策12の目 指す方向性		方向性に次の一文を追加 ●環境問題に主体的に関わることができ る人づくりを行うとともに、人々の生活や事業活 動における環境に配慮した行動への転換を 促進する。 ※政策14	琵琶環
スライド14 政策12の 施策の展開		施策の展開に「○環境学習等の推進」を追 加 ※政策14	琵琶環
スライド14 政策12の 目指す方向性 と施策の展開	●多様な主体との協働によりマザーレイ クゴールズ(MLGs)を推進する。	●多様な主体との協働により、琵琶湖版の SDGsである「マザーレイクゴールズ(MLG s)」を推進する。 ※これに伴い、施策の展開の「○びわ湖版 SDGs「MLGs」(マザーレイクゴールズ)の 推進」を削除。	琵琶環
スライド14 政策13の 目指す方向性	●県産材の利用促進などにより林業の 成長産業化を図る。	<u>政策10に移行</u>	琵琶環
スライド14 政策13の 施策の展開	○主伐再生林による森林資源の循環促 進と林業の成長産業化	<u>政策10に移行したうえで、 ○森林資源の循環利用による林業の成長産 業化</u> に修正	琵琶環
スライド14 政策13の 目指す方向性	●県産材の利用促進などにより林業の 成長産業化を図る。	政策10に移行したうえで ● <u>県産材の利用促進や主伐・再生林の推進 等により、林業の成長産業化を図る。</u> に修正	琵琶環
スライド14 政策13の 施策の展開	○主伐再生林による森林資源の循環促 進と林業の成長産業化	政策10に移行したうえで ○ <u>森林資源の循環利用による林業の成長産 業化</u> に修正	琵琶環
スライド14 政策13の 目指す方向性	「農山漁村の持つ役割や価値が見直さ れ、多様な主体が連携・協働することで 持続可能な形で多面的機能が発揮さ れるよう、地域資源を活用した地域の活	「 <u>農山漁村の持つ役割や価値が見直され、 多様な主体が連携・協働することで持続可 能な形で多面的機能が発揮される。</u> 」 に修正	農水

	性化の取組を促進する。」		
スライド14 政策13の 施策の展開	○やまの健康 2.0	削除 ※林業成長産業化、適正な森林整備、農山村活性化をまとめて「やまの健康 2.0」と呼称しているため。	琵琶環
スライド14 政策13の 施策の展開	○多様な主体が連携・協働した地域資源の保全・活用	○多様な主体が連携・協働した <u>共同活動による地域資源の保全・活用</u>	農水
スライド14 政策13の 目指す方向性	●多面的機能の持続的発揮に向けた森林の整備と森林資源の循環活発化を図る。	政策12に移行したうえで ●森林の多面的機能の持続的発揮のため、 <u>適正な森林整備を図る。</u> に修正	琵琶環
スライド14 政策13の 施策の展開	○森林整備	政策12に移行したうえで ○ <u>多面的機能の持続的発揮に向けた森林づくり</u> に修正	琵琶環

### ※その他ご意見

該当箇所	ご意見	理由	対応	部局
スライド5 目指す姿 (総合目標)	削除した方がよいのでは	・実施計画は基本構想の枠組みの中で策定すべきものであり、基本構想ではモニタリング指標と実施計画における政策目標を設定するだけで記載している。にも関わらず12年間を通じて把握すべきである総合目標を第2期から新たに設定するのは体系的な矛盾が生じているのではないか。 ・増減の要因分析も不可能であり、また4年間でそれほど増減がない。など	総合目標はそのままとし、今回、別添で、政策ごとの指標や目標イメージを提示。	琵琶環
スライド8以降 政策の柱	上位計画である基本構想と第1期実施計画との関係がわかる全体像を示す必要があるのではないか。そもそも基本構想の「人・経済・社会・環境」を、下位計画で「ひとの健康、社会・経済の健康、自然の健康」に区分を変えること自体がどうか。		別添で基本構想および第1期実施計画のつながりを提示。 第1期実施計画の目次のような体系図を入れるかは素案で検討。	琵琶環
スライド10 ～14	「目指す方向性」を「内容」にする。または削除。	「目指す方向性」とあるが、書かれているのは実施内容なので。	第1期計画と合わせ「政策の目指す方向」に修正。	琵琶環